

Tsinghua International Summer School - Experiencing China

募集要項(本募集)

本学の協定校で、且つ、キャンパス・アジアプログラムの連携大学である清華大学（中国）で2019年夏に実施されるサマースクール参加学生を募集します。

1. Tsinghua International Summer School - Experiencing China 2019 概要

<http://goglobal.tsinghua.edu.cn/en/program/experiencingchina2019>

7つの分野から1つを選び、そのテーマに関するレクチャー、ディスカッション、フィールドトリップ、グループプレゼンを通して学ぶ。清華大学より2単位が付与される。

- ①Architecture ②Creative City ③Environment ④International Relations
⑤Industry Frontiers ⑥Urbanization ⑦Gender

2. 日程

2019年7月11日（木）～7月24日（水）2週間

3. 対象学年

学士課程学生（1～4年生）、修士課程2年生（留学時） ※且つ、7月11日時点で30歳以下の者

4. 支援内容

奨学金：JASSO 奨学金（6万円）※受給要件あり

授業料：免除

宿 舎：清華大学キャンパス内の宿舎を無償提供

5. 費用

航空券、海外旅行保険（大学指定の海外旅行保険に加入）

6. 募集人数

2名

7. 応募締切

4月15日（月）17時必着

応募にあたっては、アカデミック・アドバイザー（学士課程1～3年）、指導教員（学士課程4年以上）による承認（願書への署名・押印、人物評価書記入）が必要。余裕を持って準備すること。上記提出期限において書類不備、もしくは提出期限を過ぎての応募は受理しない。

8. 書類提出先

留学生交流課キャンパス・アジア事務局（大岡山南 6 号館 3 階 307B 号室、学内便 S6-7）

※提出方法は、直接持参か学内便。学内便の場合も提出期限内に必着のこと。

9. 応募資格

- 1) 応募・留学時点で本学の正規課程に在籍する学士課程学生・修士課程学生 ※¹。
- 2) 留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者。
- 3) 日本国籍を有する者。
- 4) TOEIC770 点以上、TOEFL-iBT85 点以上、もしくは IELTS 6.5 以上を取得している者。
- 5) 対象プログラムを修了後に、その成果について単位付与を受ける者 ※²。付与可能な単位については、「12.その他 の 4、5」を参照すること。
- 6) 奨学金受給を希望する者は以下の資格を満たすこと。
 - (ア) 日本国籍を有する者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）による支援）
 - (イ) 「成績評価係数の算出方法」の計算に基づく前年度成績が評価係数 2.30 以上 ※³。
 - (ウ) 経済的理由により、自費のみで派遣プログラムへの参加が困難なもの
(原則として「※⁴ 家計基準」に合致する者。合致の如何に関わらず、選考通過後、家計状況申請書の提出を求めることがある。)
- 7) 中国への留学経験がない者。

※¹ 現在休学中の場合、留学前に復学する場合に限り、応募を受理する場合がある。事前に「キャンパス・アジア事務局」に相談すること。

※² 2019 年 9 月に本学学士課程を卒業もしくは大学院課程を修了するものは、単位付与が間に合わないため、奨学金、単位を受けることはできないが、手続き支援とオリエンテーションは受けることができる。

※³ 成績評価係数の算出方法：前年度の成績を次の表により「成績評価ポイント」に換算、計算式にあてはめて算出（小数点第 3 位を四捨五入）。

成績評価ポイント換算表

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式

$(\text{評価ポイント}3\text{の単位数}\times 3) + (\text{評価ポイント}2\text{の単位数}\times 2) + (\text{評価ポイント}1\text{の単位数}\times 1) + (\text{評価ポイント}0\text{の単位数}\times 0)$
総登録単位数

※⁴ 家計基準：2019 年度 JASSO 第二種奨学金在学採用の家計基準に合致する者。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/koho_kettei/daigaku/index.html

10. 提出書類

申請書・様式は下記のキャンパス・アジアウェブサイトからダウンロードすること

<http://www.ipo.titech.ac.jp/campusasia/japanese/dispatch/application.html>

- 1) 東工大申請書 原本1部
- 2) 人物評価書 原本1部 (封をした状態で)
- 3) 直近の1年度分(2018年度分)を含む成績証明書(英文) 原本1部
(東工大での2018年度分の成績がない者は、以前の所属先の2018年度成績書を提出)
- 4) 語学能力証明書の写し(メール提出可)
- 5) Tsinghua International Summer School Application Form(メール提出可)
- 6) パスポートの写し(メール提出可)
- 7) Curriculum Vitae(様式自由)(メール提出可)
- 8) パスポートサイズの証明写真 JPEG形式(メール提出のみ)

11. 選考方法

書類および面接による選考。

面接日時：2019年4月17日(水)午後2時～5時 (大岡山南6号館4階409号室)

12. その他

- 1) 大学の指定する海外旅行保険および危機管理サービスに必ず加入すること。
- 2) 参加後、留学情報館から依頼があれば、留学報告会や留学フェアに極力協力すること。
- 3) 自費で航空券を購入し、ビザ取得等を含む全ての渡航手続きを完了すること。
- 4) 帰国後1か月以内に必要書類を事務局に提出、修士課程学生は報告会(英語)に参加し、単位付与の手続きを行うこと。
- 5) 以下の単位を修得することが可能
 - 学士課程学生
 - ・ 1年生および2年生の参加：「グローバル理工人研修入門」等の単位
 - ・ 3年生および4年生の参加：「グローバル理工人研修」等の単位
 - ・ 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属系の科目による単位となる場合がある。
 - 修士課程学生
 - ・ 修士課程学生の参加：原則「グローバル理工人研修アドバンスト」等の単位
 - ・ 上記にかかわらず、所属学院・系・コースまたは専攻の科目による単位付与・認定が行われる場合がある。所属学院・系・コースまたは専攻の海外派遣研修に関連した科目付与・認定を希望する場合は、科目担当教員に直接問い合わせること。
- 6) 渡航先が外務省の「海外安全ホームページ」上の「レベル2：不要不急の渡航は止めてください」以上に指定された場合はプログラム参加を見合わせる。

PROGRAM SCHEDULE



Day	Date	Morning 09:00-12:00	Afternoon 13:30-17:00	Evening 19:00-21:00
1	July 11 (Thu)	Registration and check-in		
2	July 12 (Fri)	Opening ceremony and keynote lecture I	Orientation & campus tour	Welcome dinner
3	July 13 (Sat)	Keynote lecture II	Ice breaking and group discussion	
4	July 14 (Sun)	Tour to the Temple of Heaven and LaoShe Teahouse (optional)		
5	July 15 (Mon)	Keynote lecture III	Lecture and group discussion	
6	July 16 (Tue)	Field trip I		
7	July 17 (Wed)	Lecture and group discussion		
8	July 18 (Thu)	Field trip II		
9	July 19 (Fri)	Lecture and group discussion		
10	July 20 (Sat)	Lecture and group discussion		
11	July 21 (Sun)	Tour to the Great Wall (optional)		
12	July 22 (Mon)	Workshop: Presentation & Expo preparation		
13	July 23 (Tue)	Group presentation	Presentation & Expo	Farewell dinner
14	July 24 (Wed)	Check-out and depart		

Free time
(Optional cultural
& sporting
activities)

留学体験談 (情報理工学系 情報工学系 知能情報コース 修士2年)

英語を使って何かを学ぶ経験がしてみたい方にぴったりだと思います。周りに日本人学生はほぼ居ない中、世界有数の大学で学び・生活するという素晴らしい環境です。

語学力が高いほうがプログラムをより楽しめるのはもちろんですが、語学力等々で大変なことがあっても2週間でちゃんと終わりが来るので、思い切って挑戦してみると、きっとかけがえのない経験になると思います。

くわしい体験談はこちら

<https://www.titech.ac.jp/Tsinghua%202017%20Summer.pdf>

体験談QRコード

